

2018年11月5日

報道各位

日本歯磨工業会

2018年度 歯と口の健康週間企画 第18回標語募集表彰式

最優秀賞「人生100年 歯も100年 目指して磨く 歯と健康」

日本歯磨工業会（会長 濱田和生）では、2001年より毎年「歯をみがくことの大切さ」をテーマにした標語を全国の皆さまから募集しています。18回目となった本年度は、「歯と口の健康週間」に名称が変更されて6年目になり、この名称の浸透と、「歯の大切さ、口の健康の大切さを言葉にしてみませんか」をテーマに、日本歯磨工業会のホームページを通して、4月1日～6月30日の3ヶ月間にわたって募集しました。応募作品数は、14,033作品と多数のご応募をいただきました。

ご応募いただいた作品は、当工業会の広報委員会で審査を行い、最優秀賞・優秀賞・ユニーク賞・ファミリー賞・佳作の26作品とキッズチャレンジ賞（小中学生対象）6作品を選出し、最優秀賞「人生100年 歯も100年 目指して磨く 歯と健康」の作者・豊田崇久さん（東京都在住）の表彰式を10月30日（火）、当工業会事務所で行いました。

表彰式には、日本歯磨工業会 専務理事・岩崎哲也、同 広報委員長・鈴木久美子（サンスター株式会社）が出席し、鈴木広報委員長より、表彰状と賞金が豊田さんに手渡されました。

豊田さんは、「昨年、息子が生まれ、生えてきた乳歯をみがいていた時に、この子の時代はみんな100歳まで生きるのかな、100年先も歯があったらいいな。と思ったのがきっかけでこの作品ができました」と作品の背景を語ってくれました。

豊田さんの作品は、当工業会ホームページに掲載するなど当工業会の標語として幅広く活用します。なお、優秀賞をはじめとするその他の受賞作品も力作揃いです。ぜひ、下記のホームページでご覧ください。

◆日本歯磨工業会ホームページ 第18回標語募集 入選標語作品 紹介ページ

https://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki2/campaign/hyogo_kekka18.shtml

◆本件のお問い合わせ先：日本歯磨工業会 岩崎哲也 TEL 03 (3249) 2511

日本歯磨工業会

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 2-4 三報ビル 7F TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513

<参考資料>

◆表彰式の模様

10月30日（火）、当工業会事務所で行われた表彰式には、最優秀賞の作者、東京都在住の豊田崇久さんにおいでいただきました。

豊田さんは、

「昨年、息子が生まれ、生えてきた乳歯をみがいていた時に、この子の時代はみんな100歳まで生きるのかな、100年先も歯があつたらいいな。と思ったのがきっかけでこの作品ができました。

受賞の連絡をいただき、初めての応募でしたし、たくさんの応募作から自分の作品が最優秀に選ばれることがあるのだ、と大変驚きました。妻や両親をはじめ家族もとても喜んでくれました。

普段は、ハミガキ、ハブラシと歯間ブラシを使ったごく一般的なオーラルケアしかしていません。ただ、子どもの頃から母が口移しで食物を食べさせないなど、余計な細菌が私の口に入らないよう配慮してくれたおかげでしょうか、むし歯は一本もありません。歯医者さんへ行った記憶はほとんどなく、両親に感謝しています。

最近、会社からの健康への配慮もあり、健康を管理するウェアラブル端末を毎日身につけ、日々の歩数や睡眠時間などをチェックしています。週末には息子の仕上げみがきをしながら、人生100年を健康に生きるために、あらためて家族の健康管理に気をくばりたいと思っています」と受賞の喜びを語ってくれました。



鈴木広報委員長、豊田崇久さん